事系	8事	業名	移動図書館運営事業費 中央図書館 中央図書館												
基	分	野	2 生涯学習・人	 、権						事業期間		~			
本情	基本	施策	1 生涯学習の							会計種別					
報	推進	施策	3 図書館サー	 ビスの充実						実施計画		総合戦	略		
	対	象	市民		16 65 /14 - 5					•					
事業概	意	図		地域間格差の是正・ 地に居住する市民への											
要		果	●移動図書館車による地域への巡回 ●学校(小規模校)への乗り入れ ●やまびこ号(平成22年7月更新) ●やまびこ号ジュニア(令和2年12月												
		段	更新)	指標名				Ħ	単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度	宝结	R5年度見込	
指			60000000000000000000000000000000000000		事命組	目標	抗		- 122 人	4900	4900	4900			
標	活動	指標	人)	自進八数(伊到区	自由的自	実績			<u>人</u> 人	4469	3827	4218		4800	
าสร						目標達			<u>%</u>	91.2	78.1	86.1		_	
			<u>l</u> (単位:千円)	平成31年度	油笛	<u> </u>				年度 決算	~			- 5 年度 予算	
ŀ	h_/	タルコス			,886	72711 2 4	7,58		जिया उ	10,235		,373	TJ TLI	10,249	
		<u>バコス</u> 事業費	NI.		,714		4,00			3,842		,968		4,124	
]		国庫支出金		0			0		0		0		0	
_			具支出金 具支出金		0			0		0		0		0	
			也方債		0			0		0		0		0	
ス		財	受益者負担		0			0		0	0			0	
 			その他		0		10)2		0	0			0	
-			<u></u> 財源	3	,714	3,900			3,842	3	3,968		4,124		
	7	、件費1	合計	6	,172		3,57			6,393		,405		6,125	
		正職								6,393	5,405			6,125	
			員以外		,599		3,43			3,315		,361		3,613	
					599)	(3,438)			(3,315)		(3,361) 0.75			(3,613)	
	正職	貝 員以外	(人)		.85		0.50			0.90 2.00				0.85	
			<u>「 </u>		.00		2.00			2.00		.80		1.60	
環境変化等	現状 周辺 ^は 今後	の周辺 地域の <i>。</i> の予想]環境	の整備を図るとともに こより、利用者が減少			足度の高い	■	サービスを	注提供する。					
			評価」	百月		評価					平価の理由				
ŀ		1 =		~-		В	図聿館∺	·_Ľ7	の地域度		・1回の生田 等化に必要な事業	であり 亞ュ	ム である	<u> </u>	
	妥目的		事務事業の目的					ر		加圧の定正 ろも	子に心文の子木	(W) (Q =	J (0)	J 8	
	ョ 性					В									
ŀ			事務事業の目標			B	W = -15	1/	~°+ 10π 4~	ションマルロナケイ・	++ /ハ <i>宮が</i>	7.W.C.+.1.	+ 6)		
	有		十画の実施状況			В	巡回日租	Elc基	ノさ、燃ん	は丁囲通り美施で	きた(台風等による	11中四巡	めり)		
	効	5. E	目標(活動指標	等)の達成度		В									
評	性	6	上位施策への貢献	献度		В									
価	_	7. 🖣	事業成果の向上	へのさらなる取組る	}	В									
	効	8. 🗆	コスト削減へのさ	らなる取組み		В	移動図書	館の	巡回コース	スや活用方法につ	ハて、見直しの余 均	也がある。			
	率	9. *	領似事業との統合	合・代替の検討		Α									
	性	10.	これまでの実施	 手段		В									
	総合評価	В	移動図書館を必	3要としている人に継	続的なサー	ビスを提供	するとともい	こ、利	用者増に	向けた方策を検討	けする。				
	今後(の実施	方向性	維持	移動図書	館車を運行	テすることに	より、	図書館サ	ービスの地域間格	発を解消し、地域	での読書活	5動を	隹進する。	
改	成果	方向性	E F	 成果維持											
革	コスト		生]スト維持											
Ŧ [<u>-</u> (どのような効果:												
7				こ継続的なサービスを	提供する	ことで、図書	館サービス	の地	域格差を	解消し、地域での	読書活動の推進が	が図られる。			

事	務事	業名	図書館シス	テム管理運営費				担当所属中	中央図書館				
基	分	野	2 生涯学習・人	権			事業期間	•	~				
本	基本	施策	1 生涯学習の	性進			会計種別						
情報	推谁	上施策	3 図書館サービ	-			実施計画		総合戦略				
TIA	,,,,		市民				Хион I I		40-H 4X- H				
	対	象											
事業	意	図	資料・利用者の迅	速・正確な管理、サービスの向									
概要	全館でのインターネ	ット検索及び予											
図書館システムの活用により、市立図書館全館の資料管理、利用者管理、資料貸出・返却事務等を迅速かつ正確に処理し、さらにより利用者への情報提供や、資料検索・予約等が館内外を問わず24時間可能となる。													
					単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込				
指	24	指標	予約・リクエスト資	資料数	目標値	件	120000	120000	150000	150000			
標	石 男 	がはいます。			実績値	件	133117	145331	153738	-			
					目標達成度	%	110.9	121.1	102.5	-			
			(単位:千円)	平成31年度決算	令和2年度決	算 令和	13年度 決算	令和4年度	決算 令和	5年度 予算			
		タルコス	\	43,069	44,1	07	44,334	42	2,859	42,526			
		手業費		37,986	39,0	98	39,007	39	9,256	39,283			
			国庫支出金	0		0	0		0	-ネットの活用に R5年度見込 150000 - - 5年度 予算 42,526			
		الحال	是支出金	0		0	0		0	_			
		1 11	也方債	0		0	0		0	0			
ス		財	受益者負担	0		0	0		0	0			
ト		源	その他	0		0	0		0	0			
		一般	財源	37,986	39,0	98	39,007	39	9,256	39,283			
	レフ	人件費:	合計	5,083	5,0		5,327		3,603	3,243			
		正職		5,083	5,0	09	5,327		3,603	3,243			
			員以外	0		0	0		0				
			業費集計済分)	(0)		(0)	(0)		(0)				
	正職		(人)	0.70	0.7		0.75		0.50				
員	_	員以外		0.00	0.0	0	0.00	C).75	0.00			
]辺環境										
	「知の	拠点」と	して基本図書資料	の整備を図り、利用者満足度	の高い図書館サービ	えを提供する	•						

現状の周辺環境 境

変 化

等

システムの活用は、図書館運営に欠くことができないものとなっている。業務の効率化、利用者の利便性向上が期待できる I Cタグシステムを徳山駅前図書館に導入してい

今後の予想される周辺環境

インターネット活用による利便性の向上にともなう利用者の増加。

			評価項目	評価	評価の理由
	妥_	1. 市の関	与(税金支出)	В	図書館システムの活用により、業務の効率化、利用者の利便性につながる事業であり、妥当で
	当员	2. 事務事	業の目的(対象・意図)	А	ある。
	性	3. 事務事	業の目標(活動指標等)	В	
	4	4. 計画の	実施状況	A	図書館システムを適正に管理・運用し、計画通りに実施できた。
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	A	
評	性	6. 上位施	策への貢献度	В	
価		7. 事業成	果の向上へのさらなる取組	ን B	
	効	8. コスト削	減へのさらなる取組み	Α	限られた予算の中で、システム運用を実施しており、現状では最適な手段である。
	率	9. 類似事	業との統合・代替の検討	Α	
	世	10. これを	での実施手段	Α	
	総	シス	テムを適切に運用することで、利用	用者の利便性の向上	、正確な情報提供を図る。
	合評	Α			
	価				
		の実施方向性	維持	徳山駅前図書館を	含む市内6館の図書館で共通システムを運用し、利用者への迅速な対応に努める。
3 <i>h</i> -	成果	!方向性	成果維持		

コスト方向性 コスト維持 革 改革効果(どのような効果が期待できるか)

	事務事業名 図書館管理運営費 ローマー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー												
事								担当所属中	央図書館				
基	分		2 生涯学習・人	**			事業期間		~				
本情	基	本施策	1 生涯学習の				会計種別						
報	推	進施策	3 図書館サート	ごスの充実			実施計画		総合戦略				
	ý	付 象	市民										
地域の読書活動・生涯学習活動を推進・支援することで、利用者の満足度が向上し、利用者増加が図られる。 事 意 図 業													
概要	F.	成 果	●図書館利用者の	館利用者の増加・生涯学習の支援 ●幼児、児童の読書活動の推進 ●児童、生徒の総合学習への支援									
	Ш	手段	●市内6館の円滑	骨な運営 ●お話し会など各種	係部局とのコラ	ボ企画の実施							
				指標名		単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込			
指	泽	動指標	館外貸出利用者	が延べ数(個人)	目標値	人	390000	320000	320000	320000			
標	心	助伯倧			実績値	人	257099	254380	274643	-			
					目標達成度	%	65.9	79.5	85.8	-			
			(単位:千円)	平成31年度 決算	令和2年度決		3年度 決算	令和4年度		5年度 予算			
		-タルコン		212,123	222,0		219,487),025	256,453			
		事業費		164,926	173,7		175,804	184	1,539	202,048			
			国庫支出金	0		0	0		0	0			
			県支出金	0		0	0		0	0			
_		B-4 -	地方債	0		0	0		0	0			
ス		洒	受益者負担	10,443	10,5		10,607	10	0,264	10,086			
۲			その他	0		4	19		10	0			
			数封源	154,483	163,1		165,178		1,265	191,962			
		人件費		47,197	48,2		43,683		5,486	54,405			
		正期		47,197	48,2		43,683		5,486	54,405			
			裁員以外	43,004	50,6		54,408		5,059	57,427			
	ī E H	■【(^員 哉員	写業費集計済分) (人)	(43,004)	(50,67		(54,408)		,059)	(57,427)			
		^{既良} 哉員以タ		6.50 25.00	6.7 24.0		6.15 27.00		7.70 9.30	7.55 20.65			
貝				25.00	24.0	U	27.00	15	7.30	20.03			
	開始時の周辺環境												
				**************************************		، احادار کم ۱۱۰	- 7 /F (II) - 19 /F - +	m /n+	\				
	「知	の拠点」		の整備を図るとともに、地域に	密着した郷土資料な	など、多岐にわた	たる資料の収集・整理	里・保存・展示に。	る活用に努め、利	用者満足度の			

現状の周辺環境 境

変 化

等

システムの利用により、利用者の利便性が格段に向上し、予約数は増加しているが、その対応は人的作業となるため、事務量が増加している。

今後の予想される周辺環境

徳山駅前図書館開館に伴う資料の相互利用の増加

		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	В	円滑な図書館運営と利用しやすい図書館づくりにつながる事業であるため、妥当である。
	当品)	В	
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	В	
	+	4. 計画の実施状況	В	適切に管理運営し、概ね計画通り実施できた。
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	В	
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	
価	1	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	В	事業運営の効率化について、実施事業の見直しなどを検討し、改善していく。
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	
	벅	10. これまでの実施手段	В	
	総	読書活動推進のために、学校図書館などとの過	連携を密にす	るとともに、読書環境の整備を図ることで、利用者の増加、満足度の向上に努める。
	合	R		

В 評

改

革

今後の実施方向性 維持 成果維持 成果方向性

「知の拠点」として地域の読書活動・生涯学習活動の推進および支援を継続し、適切に管理運営を進めていくことで、 図書館サービスの向上に努めるとともに、「知の広場」である徳山駅前図書館との相乗効果で利用者の増加につなげ る。

コスト維持 コスト方向性 改革効果(どのような効果が期待できるか)

利用者の満足度が向上し、市民の文化水準の向上が図られる。

基	事	業名	図書館資料	購入費					担当所屋 中	中図書館			
本	分					担当所属 中央図書館							
	/3	野	2 生涯学習・人材	雀				事業期間	•	~			
	基本	施策	1 生涯学習の					会計種別					
報	推進	施策	3 図書館サービ	 ズの充実				実施計画		総合戦略			
			市民										
	対	象	利用者の多様化するニーズに対して的確に応え、利用者の満足度を向上させる。										
事業	意	図											
要	成	果	●利用者の増加 ●児童・生徒の総合学習への支援 ●レファレンス利用者への的確な対応 利用者のニーズに応えるべく、新鮮で広範囲にわたる資料の収集										
	手	段	利用者のニースに応		たる資料の場	X集 		.					
				指標名			単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込		
指	活制	指標	資料購入点数		目標		点	20000	20000	20000	20000 5年度 予算 38,587 30,300 0 0 0 43 30,257 8,287 8,287 0 (0) 1.15 3.75 用者満足度の		
標	/U =/	NI DI			実績		点	18774	18421	17829	-		
					目標達		%	93.9	92.1	89.1	-		
<u> </u>			(単位:千円) 	平成31年度決算	令和2年	度 決算		3年度決算	令和4年度				
l l'		ジルコズ		46,606		44,888		44,864		2,073			
	7		 国庫支出金	34,625		34,513		34,565	32	0			
			国库文山亚 県支出金	0		(0		0			
」			地方債	0				0		0	_		
ス		財	受益者負担	0		()	20		0	0		
<u> </u>		い西	その他	97		48	3	20		48	43		
			g財源	34,528		34,465		34,525	32	2,025			
	ᆺ	、件費		11,981		10,375		10,299		,368			
		正聯		11,981		10,375	5	10,299	Ç	,368			
			識員以外	0		(0		0			
	一班		事業費集計済分)	(0)		(0)	(0)		(0)			
	下職 下職	貝 員以多	(人) 水 (人)	1.65 0.00		1.45 0.00		1.45 0.00		.15			
			司辺環境	0.00		0.00		0.00		.13	5.75		
環境変化等	知の 高い図 現状 図書し	拠点」 図書館 の周 覧 以外の の予 れ	として基本図書資料の サービスを提供する。 辺環境 資料(AV、電子書 想される周辺環境	の整備を図るとともに、地域に は の刊行、要望の増加 なずるため、新鮮かつ広範囲に									
				[B	評価			Ī	平価の理由				
	77	1. i	市の関与(税金3			利用者に消	満足度の高し	N図書館サービスを 打	是供するための事	業であり、妥当であ	iる。		
	当的	2. }	事務事業の目的	(対象・意図)	Α								
1:	生的		事務事業の目標		В								
⊢			計画の実施状況			適正に資料	⅓强択•受入		と施できた。				
	有			な) の法式度		だ正に負		.とロマベ 町画地クタ	CIB CCIC.				
	効		目標(活動指標等		В								
評	性		上位施策への貢献		В								
価				のさらなる取組み	В								
	効	8. :	コスト削減へのさら	なる取組み	Α	限られた子	算の中で資	料選択・受入を実施	色しているため、 現	状では最適な手具	设である。		
	率	9.	類似事業との統合	・代替の検討	Α								
	性	10.	. これまでの実施	手段	Α								
	総合評	В		応えるとともに、資料を有効に	括用するため	、多種多様	な資料の選	択・受入を計画的に	こ進める。				

 コスト方向性
 コスト維持

 改革効果(どのような効果が期待できるか)

維持

成果維持

今後の実施方向性

改果方向性

革案

利用者のニーズに対応した資料を収集することで、利用者の増加や児童・生徒への学習支援、レファレンス利用者への的確な対応が見込まれる。

多様化するニーズに応えるよう新鮮で広範囲にわたる資料を収集し、利用者への的確で迅速な対応を行う。

主 黎 =									T					
子小力	事業	業名	中央図書館	官整備事業費						担当所属	中央図書館	館		
基 4	一	野	2 生涯学習・人						事業期間		~			
+		施策	1 生涯学習の						会計種別					
月		施策	2 学習機会の						実施計画		総合	半平文		
设力性	比丘儿	ルタ	中央図書館来館者						大 旭計画			林光仙日		
;	対	象												
<u> </u>	意	図	用できるよう、また糸	後40年が経過し、設 推持管理を適正に行っ	って施設の)延命化を図	図るため、施調	设改修を行 り		る。知の拠点旅	i設として利用	用者が安め	心して快適に利	
E J	成	果	施設の機能維持を	確保する事で、安全	で快適な	サービスの提	供が維持で	きる。						
ä	手	段	老朽化に伴う中央	坟修工事										
				指標名				単位	R2年度実績	R3年度実	績 R4年	度実績	R5年度見返	
活	動	指標	細事業実施率			目標 実績	値	%	0	0		1	1 -	
+			(出告・壬四)	東武21年度~	· 1 位	目標達		% I Д апа	- 上午 沈答	- - A和 / 左 i	100		- 5年度 予算	
L.	_ <i>h</i>	ルコス	(単位:千円)	平成31年度		令和2年		市和3	年度 決算 ○	令和4年		节和		
		ル <u>」</u> 人 業費	i.		0		0		0		6,739 6,018		1,441 0	
		15	国庫支出金		0		0		0		0,018		0	
		144 F	表出金		0		0		0		0		0	
וו	財		也方債		0		0		0		4,100		0	
ζ 📗			受益者負担		0		0		0		0		0	
		13百	の他		0	0			0		0		0	
	一般財源			0		0		1,918		0				
	人	件費			0		0		0		721		1,441	
		正職	員		0		0		0		721		1,441	
			員以外		0		0		0	0				
4	HWI E		業費集計済分)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0	
1 1 1 1 7	職員		(人)	0.0	nn I						0 10		0 20	
							0.00		0.00		0.10		0.20	
i E				0.0			0.00		0.00		0.10		0.20	
開中現近	始時 央図 状の 年で	寺の居 書館(の周辺 は温暖	辺環境 は築後40年が経過 環境		の老朽化		0.00		0.00	である。				
明明	始時 央図 状の 年で	寺の居 書館(の周辺 は温暖	辺環境 は築後40年が経过 環境 優化の影響により、通 される周辺環境 とによる利用者の不	0.0 過し、設備機器全体の 適切な温度を保つ事か 便・不安の増加	の老朽化	い日もあり、禾	0.00		0.00 故障している状況 る。					
明明	始 時 中図 状 の で 後 の	持の居 図書館(D周辺 は温暖 D予想 の老朽(辺環境 は築後40年が経過 環境 優化の影響により、遊 される周辺環境 とによる利用者の不	0.0 過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事か 便・不安の増加	の老朽化	い日もあり、利用を持ちます。	0.00	更をかけてい	0.00 故障している状況 る。	評価の理由	0.00	₩₩₩	0.00	
正 開中 現近 今施	始時 中図 状の 年で 後の	持の居 可書館(D周辺 では温暖 D予想 で表析(辺環境 は築後40年が経过 環境 優化の影響により、通 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 での関与(税金3	の.(過し、設備機器全体の 適切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (目 を出)	の老朽化	N日もあり、 和 評価	0.00	更をかけてい	0.00 故障している状況 る。	評価の理由	0.00	女修であり	0.00	
正 開 中 現 近 今 施 平 9	始 時 中	寺の周 四書館(D周辺 は温場の D予想 の 老朽(1. 計 2. 3	辺環境 は築後40年が経过 環境 優化の影響により、通 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金3 野野業の目的	の.(過し、設備機器全体の 動切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (対象・意図)	の老朽化	N日もあり、利 評価 A	0.00	更をかけてい	0.00 故障している状況 る。	評価の理由	0.00	女修であり	0.00	
正 開 中 現 近 今 施 画	始 時図 状 の 後 の 目的 !	時の周辺 では温暖 の予想 の予想 の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も	辺環境 は乗後40年が経過 環境 優化の影響により、通過される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 「おの関与(税金3 務事業の目的 野の目標	の.(過し、設備機器全体の 動切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (対象・意図)	の老朽化	N日もあり、利 評価 A A	の.00)、現在、機 利用者に不便 安全で快適	更をかけている	0.00	評価の理由 こめに必要な施	0.00	女修であり	0.00	
正開中。現近一今施善妥当性	始 時 中 文 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	時の周辺 では温暖 の予想 の予想 の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も の子も	辺環境 は築後40年が経过 環境 優化の影響により、通 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金3 野野業の目的	の.(過し、設備機器全体の 動切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (対象・意図)	の老朽化	N日もあり、利 評価 A A	の.00)、現在、機 利用者に不便 安全で快適	更をかけている	0.00 故障している状況 る。	評価の理由 こめに必要な施	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有	始 時図 状 の 後 の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 P D P 起 を	辺環境 は乗後40年が経過 環境 優化の影響により、通過される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 「おの関与(税金3 務事業の目的 野の目標	の.(過し、設備機器全体の 動切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等)	の老朽化	N日もあり、利 評価 A A	の.00)、現在、機 利用者に不便 安全で快適	更をかけている	0.00	評価の理由 こめに必要な施	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效	始取 状 年 後 の 目的	時の周辺 D周辺 D予想 D予想 1 . 「「 1 . 「「 2 . 3 . 3 . 5 . E	辺環境 は築後40年が経过 環境 受化の影響により、逆 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 あの関与(税金3 務事業の目標 一個の実施状況	0.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (百 と出) (対象・意図) (活動指標等)	の老朽化	か日もあり、利 評価 A A A	の.00)、現在、機 利用者に不便 安全で快適	更をかけている	0.00	評価の理由 こめに必要な施	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性	始 中	詩の 唐館 D周辺 D予想 D予想 1 . 「	辺環境 は築後40年が経过 環境 にの影響により、逆 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金3 野事業の目標 計画の実施状況 標(活動指標 日位施策への貢献	0.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (百 と出) (対象・意図) (活動指標等)	の老朽化が出来ない	評価 A A A	の.00)、現在、機 利用者に不便 安全で快適	更をかけている	0.00	評価の理由 こめに必要な施	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性	始 中	寺の 唐 別 周 辺 はは温暖 か予想 1. 「 1. 「 1. 「 2. ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	辺環境 は築後40年が経过 環境 にの影響により、逆 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金3 野事業の目標 計画の実施状況 標(活動指標 日位施策への貢献	0.0 過し、設備機器全体の 適切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 、のさらなる取組み	の老朽化が出来ない	評価 A A A A B A	の.00 の、現在、機能 利用者に不便 安全で快適 空調設備改	をかけていなサービスの	0.00	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性	始 取 状 の 後 の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時の 居館 D周辺 D予想 1. 「 1. 「	辺環境 は	の.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事かの 便・不安の増加の (対象・意図) (対象・意図) (活動指標等)の達成度 大度 、のきらなる取組み はなる取組み	の老朽化が出来ない	評価 A A A A B A	の.00 の、現在、機能 利用者に不便 安全で快適 空調設備改	をかけていなサービスの	の.00 故障している状況 る。 提供を維持するが	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性 数	始取 状年 後の B的 すかま かく	 	辺環境 は乗後40年が経过 環境 にの影響により、逆 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金3 下の関与の目標 十画の実施状況 標(活動指標・1は、一位施策への貢献 単位施果の向上が 以下では、「はいのできた。」	の.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事かの 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 、のさらなる取組み なる取組み なくれ替の検討	の老朽化が出来ない	評価 A A A A B A	の.00 の、現在、機能 利用者に不便 安全で快適 空調設備改	をかけていなサービスの	の.00 故障している状況 る。 提供を維持するが	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00	文修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性 效率性 総合評	始中、状年(後) 目的 すかま かるまならず	 	辺環境 環境 程化の影響により、適 といる周辺環境 とによる利用者の不 部の関与(税金3 下の関与(税金3 下の関与(税金3 下の関与に対し、適 下の関連に対し、適 下の関連に対し、ののはの 下の関連に対し、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、	の.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事かの 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 、のさらなる取組み なる取組み なくれ替の検討	の老朽化が出来ない	評価 A A A A B A A A	の.00 の、現在、機能 利用者に不便 安全で快適 空調設備改	をかけていなサービスの	の.00 故障している状況 る。 提供を維持するが	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00	女修であり	0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性 效率性 総合評価	始中、状年(後) 目的 すかま からまた	時の 居館 D D を	辺環境 は築後40年が経过 環境 優化の影響により、逆 される周辺環境 とによる利用者の不 評価項 の関与(税金 野事業の目標 十画の 計画の 大の は、大り削減への向上が スト削減へのさら なれまでの実施 引き続き、安全で	の.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 のさらなる取組み なる取組み な・代替の検討 手段 で快適なサービスの提	の老朽化が出来ない	評価 A A A A A A A A A a foo	の.00)、現在、機能制用者に不便能を受金で快適のでは、 計画的に施	をかけているなサービスの	0.00 故障している状況 る。 提供を維持するが 実施するために、	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00 設の整備・さ きた。		0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性 效率性総合評価分	始中、状年を後段 目的 引力主 力区主 総合平面後の	時の か は か り で で で で で で で で	辺環境 環境 環境 でででは、ででででは、できる。 でででででできます。 ででででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 できます。 できまます。 できます。 できまます。 できます。 できまます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 で	の.(過し、設備機器全体(動切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (同 を出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 、のさらなる取組み なる取組み なる取組み ない代替の検討 手段 無持	の老朽化が出来ないが出来ない	評価 A A A B A A A A A A A A A A A A A A A A	の.00)、現在、機計削用者に不便要全で快適空調設備改計画的に施	更をかけているなサービスのは修の設計業 設の改修を記	の.00 故障している状況 る。 提供を維持するが	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00 設の整備・さ きた。		0.00	
正開中 現近 今施	始中、状年(後段) 目的 目が主 から上ばら平面後果の ア	時間 D D は D P を 	辺環境 環境 環境 での影響により、通路 ではよる利用者の不 評価項 ではよる利用者の不 評価項 ではよる利用者の ではまる利用者の ではまる利用者の ではまる利用者の ではまる ではまる ではまる ではまる ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの ではまでの ではまでの ではまでの できる ではまた でもまた でも	の.(過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事力 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 のさらなる取組み なる取組み なく代替の検討 手段 に対象・サービスの提供 維持 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	の老朽化が出来ないが出来ない	評価 A A A B A A A A A A A A A A A A A A A A	の.00)、現在、機能制用者に不便能を受金で快適のでは、 計画的に施	更をかけているなサービスのは修の設計業 設の改修を記	0.00 故障している状況 る。 提供を維持するが 実施するために、	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00 設の整備・さ きた。		0.00	
正開中 現近 今施 妥当性 有效性 效率性総合評価分成プ	始中、状年(後段) 目的 目が生 からまる 平面後果 スクロ の アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時書 D は D P 老 1	辺環境 環境 環境 での影響により、通路 ではよる利用者の不 評価項 ではよる利用者の不 評価項 ではよる利用者の ではまる利用者の ではまる利用者の ではまる利用者の ではまる ではまる ではまる ではまる ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの実施 ではまでの ではまでの ではまでの ではまでの できる ではまた でもまた でも	0.0 過し、設備機器全体の 通切な温度を保つ事か 便・不安の増加 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 大度 のさらなる取組み なる取組み なくれ替の検討 手段 乗快適なサービスの提供 維持 、スト維持	の老朽化が出来ないが出来ない	評価 A A A B A A A A A A A A A A A A A A A A	の.00)、現在、機計削用者に不便要全で快適空調設備改計画的に施	更をかけているなサービスのは修の設計業 設の改修を記	0.00 故障している状況 る。 提供を維持するが 実施するために、	評価の理由 ために必要な施 画どおり実施でる	0.00 設の整備・さ きた。		0.00	

事	务事	業名	電子図書館運営費 担当所属 中央図書館											
基	分	野	2 生涯学習・人						事業期間		<u> </u>	~		
本		 							会計種別					
情報		生施策							実施計画		经	今戦略		
+IX	,正人	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	周南市民、市内通						人 //601円		IJAG7	→ Т ₩-⊓		
	対	象				ナハギリ圧	1夕屋/	1-5 1-3- 2++	ビスの忙左					
事業	意	図	●図書館に来館が困難な方に対する利便性の向上 ●幅広い利用者層に対するサービスの拡充●24時間365日非来館型サービスを提供することで、図書館に来館が困難な方に対する利便性が向上する。 ●電子化されたコンテンツの提供により、幅											
概要	成	果	広い利用者層に対	するサービスの拡充が図られる	恋が図られる。									
	手	段	電子書籍が利用で	きる電子図書館サービスの運り	用									
				指標名				単位	R2年度実績	R3年度実	績 R4:	年度実績	R5年度見込	
指	汗毛	加指標	電子図書館の登	録者数	目標	値		人	0	1000		2000	2200	
標	心里	川1日1示			実績	値		人	0	912		1557	-	
					目標達	成度		%	-	91.2		77.9	-	
			(単位:千円)	平成31年度 決算	令和2年	F度 決	算	令和3	年度 決算	令和4年/	き 決算	令和	5年度 予算	
	 	タルコ		0			0		10,591		3,941	_	6,462	
		事業費		0			0		9,526		2,860		4,660	
		从土	国庫支出金	0			0		9,526		0		0	
		特	県支出金	0			0		0	0		0		
J		定	地方債	0			0		0		C		0	
ス			受益者負担 0		0			0		C		0		
١		源	その他 0				0		0		0		0	
			设制源 设財源	0			0		0		2,860		4,660	
		人件費					0		1,065		1,081		1,802	
			職員				0		1,065		1,081		1,802	
			職員以外 0				0		0		0		0	
			事業費集計済分)	(0)			(0)		(0)		(0			
人	正職		(人)	0.00		0.0			0.15		0.15	4	0.25	
員	正職	員以	外 (人)	0.00		0.0			0.00		0.00		0.00	
環境変化等	外出 現状 電子	抑制時 の周 図書館	辺環境 8サービスの運用開始に 思される周辺環境	館中でも図書館サービスを継続により、利用者の利便性は向」	上しているか									
			評価項	[8]	評価					評価の理由				
	_	1.	市の関与(税金3	17.7	В	図書館	サービ	スの利便性	の向上につなが	る事業のため、	妥当である	0		
	妥当性	2	事務事業の目的		<u></u> В				,-	-				
	一 的 性													
		-	事務事業の目標	(心對拍係守)	<u>B</u>	40 m = 1	·∧⇒ +···	EE, 11367 = -		-12 WI				
	有	_	計画の実施状況		В	利用登	球者数	図は増加し	ており、概ね計画	通りに実施でき	だ。			
		5.	目標(活動指標等	等)の達成度	В									
評	効	6.	上位施策への貢献	大度	В									
価	性	_		へのさらなる取組み	В									
ІЩ	* L		コスト削減へのさら		В	限らわけ	- 字笆	の中で是よ	-限の効里が トノ	fられストラ ++-	-ビフの目:	有しを検討!	、 改善していく。	
	効					かぶ・ン1 し	⊂ 1. }1	··/ 1* C 月又 / ^	∖r¤∾ŊౘŊŢŢſ	, フィ เปみノ、ソー	こハツ元	三し で(犬ロ)し	ハいはいていい。	
	率		類似事業との統合		Α									
	性	10	. これまでの実施	手段	В									
	総合評	В		(に応えるよう新鮮で広範囲に	わたる電子	<u></u> 書籍コン	 テンツ [,]	を提供する	ことで、利用者の	増加、満足度の	<u></u> の向上を図]る。		

今後の実施方向性 維持 成果方向性 成果維持 改 コスト維持 コスト方向性 革

利用者のニーズに対応した電子書籍を提供することで、電子図書館サービスの向上に努めるとともに、利用者の増加 につなげる。

改革効果(どのような効果が期待できるか)

非来館型の図書館サービスの提供により、広域的な利用や幅広い利用者層へのサービスの拡充が図られ、利用者の増加、満足度の向上が図られる。